

新医学系指针对応「情報公開文書」改訂フォーム

研究協力のお願ひ

昭和大学横浜市北部病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

内視鏡動画のリアルタイム遠隔伝送に関する研究

1. 研究の対象および研究対象期間

調査対象期間：2016年12月1日～2020年3月31日

調査対象情報：大腸内視鏡検査を施行された患者様の情報

2. 研究目的・方法

研究の目的

本研究の目的は大腸内視鏡動画をリアルタイムに名古屋大学情報連携統括本部に伝送し、人工知能をリアルタイムに強化するシステム（オンライン学習）を構築することである。これによりこれまで多量の学習用画像を人の手によりふるい分けていた作業が不要となり、効率的に人工知能を強化することができる。本研究では大腸内視鏡検査を受ける患者を対象とする観察研究である。すなわち、通常診療で行われる大腸内視鏡検査において、その動画をリアルタイム伝送装置で名古屋大学連携情報統括本部に伝送しオンライン学習により内視鏡診断ソフトウェアを逐次強化することを目的とする。

研究の方法

大腸内視鏡検査試行中の内視鏡画像を、リアルタイム画像伝送機を用いて、共同研究先の名古屋大学連携情報統括本部に伝送する。この際に内視鏡画面の患者情報が表示される領域は自動的に削除され伝送される。伝送された動画は名古屋大学で蓄積され人工知能を強化するために解析される。

診療情報の利用に伴う同意取得の方法：院内掲示又はホームページによるオプトアウトを行う。研究概要（研究目的・調査内容等）を適切に通知・公開し、診療録情報の利用について適切な拒否機会を与える。

研究期間

2016年12月1日～2020年3月31日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：大腸内視鏡検査画像、ポリープがあった場合、ポリープの形、大きさ、場所、病理診断

5. 研究組織

| | | | |
|-------------|---------|-------|-------|
| 昭和大学横浜市北部病院 | 消化器センター | 助教 | 三澤 将史 |
| 昭和大学横浜市北部病院 | 消化器センター | 助教 | 森 悠一 |
| 昭和大学横浜市北部病院 | 消化器センター | センター長 | 工藤 進英 |
| 昭和大学横浜市北部病院 | 消化器センター | 助教 | 武田 健一 |

名古屋大学 連携情報統括本部 教授 森 健策
〒464-8601 名古屋市千種区不老町
電話/FAX 052-789-5689

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学横浜市北部病院 消化器センター 職名：助教 氏名：三澤 将史

住所：224-8503 神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎中央 35-1

電話番号：045-949-7265

研究責任者：

昭和大学横浜市北部病院 消化器センター 三澤 将史

研究代表者：

昭和大学横浜市北部病院 消化器センター 三澤 将史